

公民館月報

K O M I N K A N G E P P O



特集

自ら楽しく学び、繋がりを楽しく深めて…
=社会教育担当職員の自主的な学び活動=

4.5

- 2 **トピックス** 第59回新潟県公民館大会概要
- 3 **視点** 少しばかり「辛口」を
- 3 **ひろば** 心の通い合い
- 6 **実践記録シリーズ** しろね市民大学のあゆみ
- 7 **サークル交流** 楽しくゆったりと生きがいのある生活を（相崎市）／仲間たちと共に！（聖籠町）
- 7 **素顔拝見** 高村 諭さん（魚沼市）／山田 博子さん（川口町）



「滝谷灯籠押し合い祭り」 刈羽村

表紙解説 この神事は、今から約140年前に始まり人手不足から一時中断しましたが、昭和55年に復活し現在3台の灯籠で毎年4月の第二土曜日に行われています。



第59回新潟県公民館大会開催

『新しい時代を切り拓くために公民館がどうかかわるか』

去る7月18日(金)、第59回新潟県公民館大会が、上越市のリージョンプラザ上越を会場に開催された。

当日受け付け開始前には、多少雨の心配もあったが、四百九十余名の参加が得られ、会場のコンサートホールは満杯の状態であった。

主管の上越市立公民館、糸魚川市中央公民館、妙高市公民館の全面的なご尽力により、充実した内容で成果を取めることのできた大会であった。

開式に先立ち、昨年7月16日の中越沖地震、先月の岩手・宮城内陸地震で亡くなられた方々に対し1分間の黙祷が行われた。

小山孝夫大会実行委員長の開式の言葉、鈴木正行会長の主催者挨拶、武藤克己新潟県教育長(代理)西方真琴教育次長(代理)の共催あいさつに続いて表彰式に移った。



永年勤続受賞者は5名(下欄右側に掲載)で、鈴木会長から表彰状と記念品が当日ご出席

の3名の方に手渡された。

上越市長木浦正幸様(代理)小林毅夫教育長)のご祝辞と歓迎のごあいさつに引き続き、来賓紹介、祝電披露が行われた。

その後、公民館を取り巻く現下の急務の課題について、池田弘大会副実行委員長から大会決議文案が提案され、満場一致で採択された。(下欄左側に掲載)

開会式の最後は、高田地区公民館で活動するコーラスグループ「雪ん子」の皆様による「公民館の歌」の合唱があり、続いて全員で1番を歌い閉会した。

基調講演では、見附市のご出身で、東京農工大学大学院共生科学技術研究院准教授朝岡幸彦様から、「新しい時代の公民館像を考える」と題してご講演をいただいた。市民が力をつけること、活動の中で学ぶこと、学び合いの大切さという観点から、具体的な事例などを交えて、公民館の今後のあり方等についての示唆をいただいた。

(概要は、9月号の4・5面特集に掲載予定)

午後の事例発表・討議は、朝岡幸彦様のコーディネートの下、「ワンコインで岩室満喫! 岩室ふるさと講座」新潟市岩室

地区公民館池田一秋主査、「まちづくりに果たす公民館活動」地域住民が支える公民館事業、「住民の自治能力の向上を目指せ」課題に取り組む市民パワースクール阿賀野市中央公民館見原健司館長から、それぞれの具体的な実践事例に基づいた発表が行われた。活発な質疑と意見交換が行われた後、コーディネーターの朝岡様



基調講演の発表者として、朝岡幸彦様から、それぞれの具体的な実践事例に基づいた発表が行われた。

地区公民館池田一秋主査、「まちづくりに果たす公民館活動」地域住民が支える公民館事業、「住民の自治能力の向上を目指せ」課題に取り組む市民パワースクール阿賀野市中央公民館見原健司館長から、それぞれの具体的な実践事例に基づいた発表が行われた。

閉会式では、次期開催地区(会場は燕市文化会館の予定)を代表して加茂市公民館佐藤俊夫館長に大会旗を引き継がれた。



中央公民館渡辺辰夫館長から閉会の言葉があり、大会は滞りなく終了した。

からまとめと今後の方向づけがなされた。

第59回大会決議文

県内の市町村合併も県北地域の合併で一応終了し、最終的には、31市町村に取れんされた。

一方、公民館の歴史が62年を迎える中で、公民館を取り巻く環境はますます厳しさを増してきている。特に、市町村合併による行政エリアの広域化や行政改革に伴い、行政機関だけでなく、公民館施設の統廃合、職員削減等が進められている地域もあり、公民館は大きな岐路に立たされている。

このような厳しい社会情勢の中にあつて、公民館の役割・存在意義が大きく問われている今日、急速に進む核家族化や少子高齢化、地域住民の価値観の多様化、到来した団塊世代への対応等を含めて、これらの諸問題を直近の重要課題としてとらえ、課題解決に向けた真摯な取組が求められている。

そこで私たちは、公民館が生涯学習推進の中核施設として、また、地域住民との協働によるまちづくり、地域づくり、人づくりの拠点として、今後も一層重要な役割を果たし、各行政機関、団体、地域住民の理解・協力を得るため、ここに大会決議する。

- 記
- 公民館の置かれた厳しい現実を真摯に受けとめ、関係職員の意識改革と研修のより一層の充実を図る
 - 公民館の設置及び運営に関する基準の趣旨を踏まえ、自らの職責を強く自覚し、地域の課題や地域住民の要求課題・必要課題を的確に把握し、多様な講座・事業の実施に努める。
 - 公民館の講座・事業等の推進のため、施設・設備の整備を働きかけ、資料の蓄積や指導体制を整える等、職員研修のより一層の充実を努めるとともに、自らの力量の向上を図る。
 - 公民館の運営状況等に関する点検・評価の改善に努めるとともに、ボランティア等の人材を生かして、活力ある公民館の再構築を目指す。
 - 地域住民の学習を支え、学習の成果を地域社会の教育活動に積極的に還元していくよう努める。
 - ブロック公連の再編と新しい研修組織の確立定着化を図る
 - 新しい研修組織の編成・確立により、効率的な研修を推進し諸研修を一層実りあるものにする。
 - 研修組織・研修内容の充実のため、当該市町村及び公民館と連携を図りながら、研修予算の確保・人的支援体制の充実を努める。
 - 新潟県公民館連合会の果たすべき役割を積極的に行う
 - 県公連の役割・組織のあり方を再検討し、組織・運営の活性化に努める。
 - 県公連財政基盤確立のために、各公民館の一層の努力を促すとともに、引き続き自主財源確立の方策について検討を進める。また、県市長会、県町村会と密接な連携を図りながら、県公連の財政基盤確立強化に努める。
 - 全国的にも評価の高い「新潟県公民館月報」の紙面充実を図りながら、県内外に情報を発信する。
- 平成20年7月18日 第59回新潟県公民館大会

永年勤続受賞者

新潟県公民館連合会

| 氏名 | 所属公民館並びに役職 |
|---------|-------------------|
| 1 高橋 文子 | 新潟市東地区公民館 非常勤嘱託 |
| 2 堀田 恭子 | 上越市立公民館 公民館協力員 |
| 3 熊田 悦男 | 新発田市中央公民館 運営審議会委員 |
| 4 坂上儀一郎 | 加茂市公民館下条分館 館長 |
| 5 井上亞機雄 | 加茂市公民館 運営審議会委員 |

視点

少しばかり「辛口」を

三条市栄公民館長 高波三太夫



公民館活動において、子ども達を対象とした講座には趣向を凝らします。その活動の根底にあるのは何であるかを忘れないように心したいものです。ただ多くの参加者を得るだけの満足感や、関心と呼ぶだけの創意ではなく、其処には当然反省が伴い次に繋ぐためにも一工夫が欲しい。それには時代思考の中での子どもの目、そして地域の求め、それ等を叶えた企画力で結果を呼び起こしたいものと考えます。

先般、試みに子ども達に姿勢や礼儀を学ぶ為、体験学習

として地域に歴史のある剣道教室を公開しました。それは関心呼びました。剣道を知らない子ども達には正に貴重な体験であり、一面規律の厳しさを見せ付けたようでした。

終始それを正座で見つめていた豆剣士の保護者。一方興味深く携帯でわが子を追う姿が時折目に映る。いま、子どもに「もの」を求めようとする中に最小限のルールがあるならそれは何であるか。考えさせられる一面をそこに見たようでした。少し辛口でしたでしょうか……。

H O T N E W S

掲 示 板

平成20年度社団懇総会開催

平成20年7月10日(木)午後2時～
東映ホテル 305 11団体 26人出席
全体進行：相澤幹事

- 1 開会挨拶 会長 小林美代子
- 2 日程説明 田中幹事
- 3 来賓のご挨拶並びに行政課題について講話
新潟県教育庁生涯学習推進課長 飯平喜文 様
「平成20年度生涯学習推進課重点事業」(約20分)
新潟県立生涯学習推進センター所長 松井周之輔 様
「平成20年度事業の概要」(約10分)
- 4 来賓並びに講師紹介
- 5 講話「ケイタイの危険性」(14:35～15:45)
講師 新潟県警察本部 ハイテク犯罪対策班 大嶋隆義 様
(休憩: 15:45～15:55)
- 6 報告並びに協議 (15:55～16:05)
進行: 反町幹事
(1)平成19年度事業並びに決算報告について
(2)監査報告
(3)平成20年度役員の選任について
(4)平成20年度事業計画並びに予算案について
※すべて承認された
- 7 説明と協議 (16:05～17:05)
進行: 反町幹事
(1)加盟各団体の重点施策について (各5分程度)
(2)意見交換並びに県あるいは他団体等への要望事項等
- 8 閉会
全体進行が締めくくり、情報交換会へ誘導

ひろば

心の通い合ふ

長岡市社会教育委員 公民館運営審議会委員 吉田絵里子

ある日の朝、自宅から少しの所で、笑顔の人に会った。同じ町内のその人は、今まで少し近寄りがたい気がしていたが、その日の、心からの笑顔で、私は幸せな気持ちでいっぱいになった。今も、時々思い出すと、心が暖かくなる。孤独な時は、救われたような気持ちになる。

私は、十数年前に、長岡市中央公民館で、講座「レディーズゼミナール」を受講し、受講経験者有志で運営する会に入会した。その会で、周りの人を元気にするパワーを持った人達に出会うことができ、人とのコミュニケーション等様々学び合っている。

身近にいる家族、そして地域の人達とも、ほっとする笑顔で送り出したり、「またね。」と、声をかけあえる関係を大切にしていきたい。

笑顔のコミュニケーションは、特別な資格がなくても、少しの勇気があれば、誰でもできる。キャッチボールのように、受けとつたら、それに答えて投げ返すと、心の中で挨拶ができる。家庭でも、地域でも、心の通う人間関係が、住んでいる街を元気にする。



がりを楽しく深めて…

員の自主的な学び活動＝



「人とヒトを繋ぐ東京・新潟学習会」

4 夢を見つづけること

数年間にわたる市町村合併の論議があったとはいえ、特に「地域自治区」としてスタートした13区の市井レベルでは、「高齢化・過疎化が一層進んでしまうのでは?」、「地域の誇りや資源を、今後どう伝え、繋げていけば良いのか?」と、まだまだ不安の真只中にあるのが現実です。その中で、社会教育はどんな役割を果たせば良いのか、果たすべきなのか…。

上越市教育委員会では、昨年度から、課や分室の枠組にとらわれず、多くの職員が連携し知恵を集めて、総合教育プランの重点施策を具体化しようと、「総合教育プラン推進プロジェクトチーム」を発足させました。教育・学習施策の総合化によるまちづくりに向けた第1歩です。「どこでもライブラリー・みんなの本だなプロジェクト」、「教育を考える集い」、「ポータルサイトみんなのひろば」など、紙面の都合で今回は詳細をお伝えできませんが、少しずつ成果が出はじめています。

私たちは、今回、自ら学ぶ過程を通じて、多くの方々との新しい出会いがあり、これまでの繋がりが一層深まりました。そんな関係の上に、私たちの仕事が成り立っていることも、あらためて自覚しました。さらに多くの市民が、イキイキと学び、色々な活動に生きがいを持って参加する姿を夢見ながら、私たち社会教育担当者の模索は、まだまだ続きます。

最後に、会に参加する若い職員の感想をいくつかご紹介し、まとめとさせていただきます。

●同じ問題意識を抱え、同じ夢に向かって議論することの大切さを実感しました。学びのしくみ探究会は、合併前、合併後に社会教育に携わった人誰でも、本音で今、自分の抱えている悩みを相談でき、お互いに助言・アドバイスできる

会であると思います。

- 合併してから感じていた問題点や、縦割りの行政組織では思いつかないことなど、職場を超えて話し合うことができ、新たな目で仕事に向き合うことができました。社会教育に関わる私たち自身が、学びの主体者として課題解決に向けて様々な意見を交わしたことは貴重な機会になったと思います。
- 一歩踏み出そうとするたびにつまずいてしまう。これがまた厄介なことにつまずいたものは「石」ではなく「人」であった。さすがに教育委員会。仕事相手は「物」ではなく「者」であった。こんな無知な厄介者を導いてくれたのもまた「者」であった。私がまず知らなければならぬ「上越市の学びのしくみ」を生々しく学ばせてくれた。人と人の繋がり。職員と職員の繋がり。思考と思考の繋がり。人を教え導く者の端くれとして欠かせないいくつかの繋がりを持つことができ、うれしい楽しい学びの場であった。
- 活動を振り返って、まずはメンバーの熱い思いに驚きました。私は他のベテランの方々とは違い、まだ教育委員会2年という尻の青さが取れ切れないため、他のメンバーの熱い思いや様々な知識は驚嘆の域です。そういう人たちと活動できただけでも参加した価値がありました。
- 幅広い年代や経験年数のメンバーが集まったことで新しい人脈が形成され、個々の持っている情報や知識を共有しあったり、仲間の豊かな発想力や思考力に感化されたりすることができました。また、交流の深まりによって、区同士の連携事業や本庁と区が連携した事業が開催されるなど、嬉しい副産物がいくつも誕生しました。さらに、自己研鑽の場として各種学習会に参加させていただいたことで、社会教育の最前線でご活躍されている諸先生や同じ社会教育現場の担当者の方々と出会い、新しいつながりができたとともに、学社融合、まちづくり、公民館など社会教育行政について、最先端の情報と課題を享受することができました。
- あるときは会議室で、あるときは夜の会議室(?)で…合併後、客観的に自分たちの仕事を見る機会が少なかったのですが、現場で従事する職員が意見・情報を持ち寄り、共有することにより、市の教育を見つめなおすことができたものと思っています。

特集

自ら楽しく学び、繋

＝社会教育担当職



上越市学びのしくみ探究会 代表
外立茂利一
(上越市教育委員会安塚区分室：主任)



上越市学びのしくみ探究会 事務局
沢田 繁
(上越市教育委員会名立区分室：主任)

1 はじめに

平成17年1月1日の市町村合併後、上越市教育委員会は、本庁各課をはじめ、13区分室や教育機関など、大きな組織となりました。このような中、社会教育事業を企画・運営していく上で、各課間や本庁・分室間の連携、日常的な業務の処理方法など、「こうしたらもっと良くなるのに」、「こんな事業を行ったらいいのでは!」など、担当職員同士で、日常的に多くの意見交換がなされました。また、事務的な部門から初めて社会教育現場に異動してきて、「教育って言うけど、何をやればいいのか?」、「社会教育と生涯学習ってどう違うの? 同じなの?」、「公民館ってどんな施設?」など、そもそも社会教育現場の“入口”で、戸惑い、立ちすくむ若い職員の姿も目にしました。

このようなことから、社会教育主事資格の有無にとらわれず、社会教育担当職員等の繋がりを深め、一人ひとりの想いを共有し、真に上越市・市民の発展につながるような社会教育事業の展開を目指して、自主研究グループ「学びのしくみ探究会」(16人)を創り、平成18年6月から活動しています。

2 活動内容

最初に、参加者全員の共通認識をつくるため、先人の想いや社会教育に関する基礎的事項を学ぶ



第1回ワークショップで手島氏と

ため、元聖籠町教育長・社会教育主事で、現在、新潟市教育委員会教育政策監である手島勇平氏をお招きし、聖籠町公民館・教育委員会時代に進めた社会教育事業と、そこに託したご自分の想いや多くの人との出会い・繋がりについて、お話をお聞きました。また社会体育の分野では、一番ホットな施策である「総合型地域スポーツクラブの設立・運営」について、実際に設立・運営にあたった会員から話を聞き、理解を深めました。続いて、何度かワークショップを行い、参加者一人ひとりがおかれている現状を共有するとともに、社会教育事業やそれを推し進める教育委員会の体制について議論し、「提言」としてまとめて、教育委員会に提出しました。

おりしも、教育委員会では、新しい上越市の教育・学習活動の指針となる「市総合教育プラン」の策定が進められており、その策定過程にも関わることになって、「公民館を中心とした社会教育の推進」や「社会教育主事の配置と社会教育担当職員の研修体制の整備」などの部分に、私たちの想いや考えも盛り込まれることに繋がりました。

3 東京・新潟楽習会

平成18年11月、新潟市公民館などの有志の皆さんが主催し、「市民立学校ってオモシロイ!」をテーマに掲げた楽習会に参加させていただく機会にも恵まれました。

翌年19年12月には、広く一般市民を対象に、今度は私たちが主催して、「人と人を繋ぐ東京・新潟楽習会」を開催しました。上越市が策定した総合教育プランを学びPRする機会をつくるとともに、障害者の日常生活支援や地域資源の発掘・活用など上越市内で日々活動されている方々の、熱い想いを感じ取る場となりました。また、『月刊社会教育』編集委員でもある東京農工大学の朝岡幸彦先生を始め、多摩住民自治研究所の皆さんからも参加いただいて、地域自治体の地域協議会委員さんやNPO団体の専務理事さんなどとともに、上越の市町村合併についても、考える機会を提供しました。

(この2つの楽習会の様子については、次のURLから、ご覧いただくことができます。)

■学びのしくみ探究会ブログ

<http://blog.goo.ne.jp/j-kouminkan>

実践記録

125

シリーズ

しろね市民大学のあゆみ

しろね市民大学代表 小林 隆二

「しろね市民大学」は開講から7年になります。平成13年市民待望の生涯学習施設「白根学習館」の開館を迎えましたが、当時の市の財政状況では公民館予算での市民の多様な学習ニーズへの対応は困難でした。一方生涯学習への要望は多様になり、各種の趣味等の活動に生きがいを求める市民はますます増えています。しかし、公民館の予算は地域の課題に対応する住民の学習に向けられるべきであり、個人の趣味等の学習は行政に頼るのではなく、市民の手で学びの場を作る必要があるのではないかと考え、私たちは当時社会教育に関わった人々を中心にして次のように市民大学の開講を呼びかけしました。

しろね市民大学は学びたいという市民の方々の様々なニーズに応え、期待にそうができるように、市民の皆様と力を合わせていくところです。市民が主体の大学です。しろね市民大学では次のような講座になることを目指しています。



実用習字講座



洋画講座

初歩の茶道講座

- 1 楽しい講座
- 2 心が豊かになる講座
- 3 友達の輪が広がる講座

初年度は13講座224名の応募を得て発足、以来毎年250名前後の市民の応募を頂いて運営しています。講座の運営は各講座を代表する運営委員によって自主的に運営していますが、まったく行政と無縁ではなく、公民館との共催事業として認定頂き、施設の使用については無料にして頂いています。ちなみに平成20年度の開講講座と受講者は表のようになっています。

7年目を迎えた今、各講座ともメンバーが固定化する傾向があり、学習効果の高まりは良いことですが、受講者の拡大や魅力ある新たな講座の立ち上げなど、今後の課題は多くあります。また、理科の楽しさを知らせる子どもの科学教室などを試みたいのですが、その指導者探しに苦慮しています。

| 講座名 | 受講者数 |
|--------------|------|
| 源氏物語講座 | 13 |
| 川柳とあそぼう | 10 |
| 楽しい家庭料理講座 | 24 |
| 実用習字講座 (初中級) | 15 |
| 同 (中級) | 14 |
| 同 (夜の部) | 20 |
| 同 (創作を楽しむ) | 13 |
| 四季の園芸講座 | 14 |
| 初歩の茶道講座 | 14 |
| 長期パソコン講座 1 | 17 |
| 同 2 | 15 |
| 短期パソコン講座 | |
| コーラス講座 | 26 |
| オカリナ講座 | 11 |
| 日本画講座 | 7 |
| 洋画講座 | 17 |
| ふるさと自然探訪講座 | 17 |
| 子供 楽しい将棋講座 | 22 |
| 子供 楽しい囲碁講座 | 5 |
| 子供 楽しい科学講座 | |



哀愁の音色をもつハーモニカに魅かれ、吹いてみたいなと思ったのが切っ掛け。楽しみながら、仲間との友情を大切にして、公民館学習室を会場に、月二回の練習に精を出しています。

C調のハーモニカで吹ける曲は限られていますが、それでも童謡から唱歌、民謡に演歌とレパートリーは幅広く、数多くの曲を楽しんでいます。「あじさい」の花のように、一人ひとりの個性あるハーモニカ演奏を、皆で合奏する楽

**楽しくゆったりと
生きがいのある生活を
ハーモニカあじさいグループ**

しさを味わっています。

毎月定期的に施設への訪問や、発表会、各種イベント等に参加し大勢の方々と、歌ったり演奏したりして交流を続けています。皆で喜び楽しみを、生きがいとしています。

柏崎あじさいグループ
代表 堀井忠一 記



仲間たちと共に！

Daiyaーダイヤー

結成3年目のよさこいチームです。チームで気持ちのひとつにして踊ることを目標に日々練習しています。

「Daiya」とは、どんな時も、どんな場所でも輝きたいとゆう思いで作られました。



地元、聖籠町のお祭りの他、毎年9月に新潟市万代で行われる「新潟総踊り」や毎年7月に開催される「いずみりん

しゃん祭り」(五泉市)などに参加しています。

心をこめて踊ることで、つなぐ仲間が生まれ、地域や世代を超えた絆が生まれていきます。そして私たちは、お祭りに参加することで、努力し、活性化し、団結します。深い感動を、より多くの仲間とわかちあいたいと思っています。

聖籠町でも「ZEBRA祭」とゆうユニークなよさこい祭りを開催しています。ZEBRA柄一色の会場が目玉ですよ！

聖籠町
Daiyaーダイヤー
代表 横山恵美 記

川口町教育委員会の待ちに待った期待の新人、山田博子さんを紹介します。

教育委員会にも高齢化の波が押し寄せるなか、唯一の20代でフットワークも軽く、社会教育、学校教育、社会体育と幅広く活躍しています。

山田さんの趣味はスノーボードと英会話。スノーボー



川口町教育委員会
主事 山田 博子さん

ドの腕前はプロ級。ウインターシーズンは、指導者としても活躍してもらい、山田さん指導のもとスキー人口の増加、ジュニアの育成にも繋がってくればと期待しています。

新人さんに触発されて、おじさん達も益々気合いを入れて頑張ります。

(川口町教育委員会 主査 横山基文 記)

平成20年度から新採用職員として、堀之内公民館で日々業務にあたっている高村諭さんをご紹介します。彼の業務は広神公民館の事業である「ふるさと講座」や「放課後こども教室」などです。優しい上司や先輩に囲まれ日々精進している様子です。

しかし、まだ新しい環境に慣れていないせいなのか、時折疲れた表情を見せてい



魚沼市生涯学習課
主事 高村 諭さん

ますが、そこは若さで乗り切ってほしいものです。ストレス解消方法は仲の良い友人達と、週末を利用し旅行に出かけることだとか。お酒はあまり飲めませんが、お酒の席は好きらしいので、積極的に参加しています。これから公民館事業など忙しくなりますが、今後とも高村さんの活躍を期待していきたいものです。

(魚沼市生涯学習課 森山玲子 記)



event information

平成20年度下越地区公民館関係役職員等研修会概要 「まなぶ」だけじゃない！公民館の目的と機能について ～住民の自治能力向上支援のために～

- 1 期日 平成20年9月26日(金) 10:00～16:00
- 2 会場 聖籠町町民会館
- 3 主催 下越地区公民館連絡協議会
- 4 主管 三市北蒲原郡公民館連合会
- 5 対象 公民館役職員、公民館運営審議会委員、社会教育・生涯学習関係者

6 日程

| | | | | | | | | | | |
|------|-------|-------|----------|-------|----------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 9:30 | 10:00 | 10:30 | 12:00 | 13:00 | 13:40 | 14:00 | 15:40 | 16:00 | 17:00 | 19:00 |
| 受付 | 開会式 | 分科会 | 昼食 休憩 | 分科会 | 移動 休憩 | 記念講演 | 閉会式 | 移動 | 情報交換会 | |

- 7 分科会
 - 第1分科会 地域課題をどのように取り上げるか？
～魅力ある講座の企画をいかにするか～
 - 第2分科会 さまざまな学習方法
～学習を地域に活かすために講座型から参加型へ～
 - 第3分科会 公民館事業のPRの仕方について
～効果的な参加者集めは～
 - 第4分科会 地域の人材をどう活かすか
～同世代など新たな人材への期待～
- 8 記念講演 演題「地域づくり・住民自治と社会教育の役割を考える」
講師 北海道教育大学釧路校 教授 玉井康之様
- 9 参加申し込み・参加費
 - (1)所定の申込書により市町村ごとに取りまとめの上、9月5日(金)までに研修会事務局へメール又は、ファクシミリで申込み。
 - (2)参加費は、資料代1,200円、昼食代800円、情報交換会参加費5,000円。口座振替により9月12日(金)までに指定の口座へ。
 - (3)参加申込みの取り消しは、9月19日(金)までとし、それ以降は準備の都合上、返金いたしません。
- 10 事務局 (問合せ先)
〒957-0117 北蒲原郡聖籠町大字諏訪山1280
聖籠町町民会館 担当 神田、藤田
TEL: 0254-27-2121 FAX: 0254-27-7976
Eメール info@kaikan.seirou.niigata.jp

恵贈資料紹介

上越教育事務所

平成19年度に、上越教育事務所社会教育課が実施した教室や講座、各種の訪問や実態調査から見えてきた課題、その解決に向けた事業、特色と呼ばれる各地の実態や課題解決に向けて各市で行われている事業の様子が掲載されています。

その主な内容は、次のようになっています。

第I部 生涯学習・芸術文化・文化財

1 生涯学習行政訪問を通して

- (1)生涯学習推進体制の整備
- (2)社会教育の実施
- (3)施設・人的体制の整備
- (4)生涯学習実施状況調査を通して
- (5)国・県関係の委託事業並びに



- 3 市単独事業について
文化行政調査を通して
文化財の振興・活用
- 2 管内3市共催事業より
学習プログラム学び合い
研修より
事業等計画訪問より
学習プログラム企画等支援
訪問より
- 1 地域課題に対応した
事業
- 第II部 活動紹介**
- ◆上越市の事例紹介 8例
 - ◆糸魚川市の事例紹介 3例
 - ◆妙高市の事例紹介 3例
- 第III部 自主運営団体の事業**

あ と が き

第59回新潟県公民館大会も盛会裏に終了することができました。昨年度は、直前に中越沖地震に見舞われ、大会は中止になり、やむを得ず紙上大会となりました。今年度も大会当日まで、災害に対する多少の不安もありましたが、小山孝夫実行委員長はじめ、上越市、糸魚川市、妙高市の実行委員の皆様のごきめ細やかな配慮とご尽力により、無事開催できましたこと、心より感謝申し上げます。(相澤 記)

道路ふれあい月間

毎年8月は「道路ふれあい月間」です。
私たちの生活に欠かすことのできない「道」
について考え、安全で快適な社会生活環境を
実現していきます。

新潟県道路整備協会
会長(田上町長) 佐藤 邦義
新潟市中央区新光町4-1 新潟県自治会館内
TEL 025(285)0041 FAX 025(285)1609